

櫻坂を緩歩中

学校説明会等のご案内

【札幌英藍高等学校】＝学校説明会（対象＝中学3年生の保護者）

札幌英藍高校の学校説明会が下記の通り行なわれます。

- ①日時 令和7年11月14日（金）18：30～19：30（受付18：00～）
- ②会場 札幌英藍高校 第一体育館
- ③留意 ・ 中学3年生の保護者を対象とした説明会ですが、中学3年生の方については、保護者の方と同伴の場合のみ参加可とします。

学校説明会の参加希望者は札幌英藍高校のHPより各自で申し込みください。

（中学校への連絡は不要です。）

●冬用ジャンパーを購入される方へ

寒くなってきたため冬用ジャンパーを購入される方もいることでしょう。来春の公立高校入試はどうなるかまだわかりませんが、今春の公立高校入試では、換気で教室が寒いため冬用ジャンパーの着用が認められておりました。ただし、背中や肩部分に英単語などが入っている冬用ジャンパーの着用は不可（ブランド名であっても不可）でした。これから、冬用ジャンパーを購入される方は、そのあたりも考慮されて購入してはいかがでしょうか。

●公立高校の2次募集について（筆記試験はありません。）

いわゆる定員割れをした場合、公立高校では2次募集が実施されます。

2次募集について、筆記試験があると思われる方がいるかもしれませんが、筆記試験はありません。1次募集の入試得点がそのまま使用され、その入試得点と個人調査書から総合的に合否判定されます。（ただし、2次募集で面接を実施する場合があります。）

●公立高校入試時の文房具について

上に記したように公立高校の2次募集は1次募集の入試得点が使われることから、どの会場（高校）で入試を受けても不公平が生じないよう厳正な措置がとられます。

文房具に関して、①鉛筆は、「合格祈願」、「必勝」等の漢字が記されたものは使用できません。②消しゴムは、ケース部分に英単語が記されたものは、ケースをはずすように指導されます。③定規は、折れ曲がる定規は（分度器がついている可能性があることから）使用できません。

冬用ジャンパー同様、これから文房具を購入される方は、そのあたりも考慮されて購入してはいかがでしょうか。

●札幌新卒応援ハローワークより

札幌新卒応援ハローワークより、下記の内容の通知文が届きました。

例年ハローワークの職員が各校を訪問して実施しております、就職希望生徒を対象とした職業相談につきまして、求人の応募開始が12月1日であることから、11月10日から12月18日の期間に実施する予定をしております。

つきましては、貴校及び本人とその家族の職業相談の希望および職業紹介業務に使用する各種用紙の所要数について、10月23日（木）までにご報告（郵送）くださいますよう、よろしくお願いいたします。

上記のように、札幌新卒応援ハローワークを通じて就職されることを希望される生徒がおりましたら係（高野）へ連絡をお願いします。10月23日までに郵便が各日に届くことを逆算しまして、10月17日（金）までに連絡をお願いします。

◎coffee break コラッツの予想

「コラッツの予想」、2011年大学入試センター試験の「数ⅡB」に出題された他、予想の真偽に多くの懸賞金（日本のある企業は1億2000万円の支払いを約束）がかけられた予想です。

予想の内容はいたって単純で、

どんな正の整数でも、①「偶数なら2で割る。」、②「奇数なら3倍して1をたす。」という操作を繰り返せば、必ず1に到着させることができる。

というものです。

例えば、奇数の3は、「 $3 \rightarrow 10 \rightarrow 5 \rightarrow 16 \rightarrow 8 \rightarrow 4 \rightarrow 2 \rightarrow 1$ 」と7回の操作でコラッツの予想通り1となります。

センター試験の問題は、まず6と11の操作回数をきいてきました。

偶数の6は、「 $6 \rightarrow 3 \rightarrow 10 \rightarrow 5 \rightarrow 16 \rightarrow 8 \rightarrow 4 \rightarrow 2 \rightarrow 1$ 」と8回の操作で1となります。

奇数の11は、「 $11 \rightarrow 34 \rightarrow 17 \rightarrow 52 \rightarrow 26 \rightarrow 13 \rightarrow 40 \rightarrow 20 \rightarrow 10 \rightarrow 5 \rightarrow 16 \rightarrow 8 \rightarrow 4 \rightarrow 2 \rightarrow 1$ 」と14回の操作で1となります。

これだけでは小学生でも解答できる算数の問題に過ぎませんので、この後は10000以下の自然数の操作回数を求めるプログラム作成の問題となりました。

こうしたコラッツの予想の真偽は未解決です。関心のある方は、真偽を追究されてはいかがでしょう？1億2000万円を手に入れ、億万長者になれるかもしれませんよ。

ちなみに2019年9月にオーストラリアの数学者のテレンス・タオが、ほぼ全ての整数について1になるという証明をしましたが、全ての整数ではないため、コラッツの予想の真偽は未解決のままです。